

## 平成19年度入札制度の改正について

平成19年5月21日

倉敷市では、より一層、入札の透明性、競争性、公正性を高め、談合等の不正行為を防止するため、次のとおり入札制度を改正することとしました。

### 1 主な改正点

#### (1) 公募型（事後審査・郵送方式）競争入札の対象工事の拡大について

##### ア 拡大する理由

入札の透明性、競争性、公正性を高めるため。

##### イ 実施対象工事

設計金額2,000万円以上10億円未満の建設工事の全件

ただし、緊急を要する場合や一部の特殊工事などは除く。

また、設計金額10億円以上の建設工事については、従来どおり一般競争入札を実施する。

##### ウ 実施方法

上記の実施対象工事のうち、設計金額2,000万円以上6,000万円未満の土木一式工事の約7割程度に地区要件を設定する。（倉敷地区、水島地区、児島地区、玉島・真備・船穂地区の4地区とする）

#### (2) 公募型（事後審査・郵送方式）競争入札の募集情報の公表を月2回から月3回に変更する

公募型（事後審査・郵送方式）競争入札の募集情報は、原則として毎月5日、15日及び25日（その日が倉敷市の休日を定める条例（平成元年倉敷市条例第40号）に規定する市の休日に当たるときは、その日後において最も近い日で、休日でない日）に契約課のホームページで公表する。

#### (3) 最低制限価格基準率の算定方法の変更について

##### ア 変更理由

公共工事の適正な施工を確保するため。

##### イ 最低制限価格基準率の算定方法（変更後）

$\text{最低制限価格基準率} = \frac{\text{設計上の直接工事費} + \text{共通仮設費} + (\text{現場管理費} \times 2 / 5)}{\text{工事価格}}$
--

太字の部分が変更箇所（変更前：1 / 5      変更後：2 / 5）

( 4 ) 最低制限価格の決定方法の改正について

最低制限価格の計算式の改正について

現在、最低制限価格の算定方法は、抽選により 2 1 通りの中から決定した変数 X を計算式に代入して算定しているが、次のとおり変数が 1 0 0 通りとなるよう改正する。

ア 変更理由

同価くじを解消するため。

イ 最低制限価格の算定方法（改正後）

最低制限価格 = 予定価格(税抜き) × [最低制限価格基準率 - (0.002 × X + 0.0002 × Y)]

X 及び Y は、1 0 本のくじを 2 回引いて決定することとし、1 回目引いたくじの値を X ( 0 ~ 9 ) とし、2 回目引いたくじの値を Y ( 同じく 0 ~ 9 ) とする。

最低制限価格は、上記計算式によって算出された価格の千円未満を切り捨てた額とする。

すべての入札金額が最低制限価格を下回った場合の最低制限価格の再計算について

ア 改正理由

現在は、すべての入札金額が最低制限価格を下回った場合、当該入札は不調となる。

そこで、当該入札が不調となるのを避け、落札決定ができるようにするため、すべての入札金額が抽選によって算定された最低制限価格を下回った場合には、次のとおり最低制限価格を再計算し、計算上最も低い金額に設定するように改正する。

イ 再計算による最低制限価格の決定方法

予定価格以下で応札したすべての入札金額が、イの方法で算定した最低制限価格を下回った場合、計算式の X 及び Y に 9 を代入して再計算し、再計算した値（千円未満切捨て）を最低制限価格として決定する。

2 実施時期

平成 1 9 年 6 月 1 日以降発注（公告、指名通知）分から